



ESG地域金融の動向

2022年11月

環境省大臣官房環境経済課 環境金融推進室長 今井 亮介



ESG地域金融の意義

なぜ「ESG金融」が経済社会にとって重要なのか

■ SDGs のウェディングケーキモデル

■ ESG金融によるSDGsの推進



環境
(Environment)

社会
(Social)

企業統治
(Governance)

出所) SDGs "wedding cake"
<https://www.stockholmresilience.org/research/research-news/2016-06-14-how-food-connects-all-the-sdgs.html>

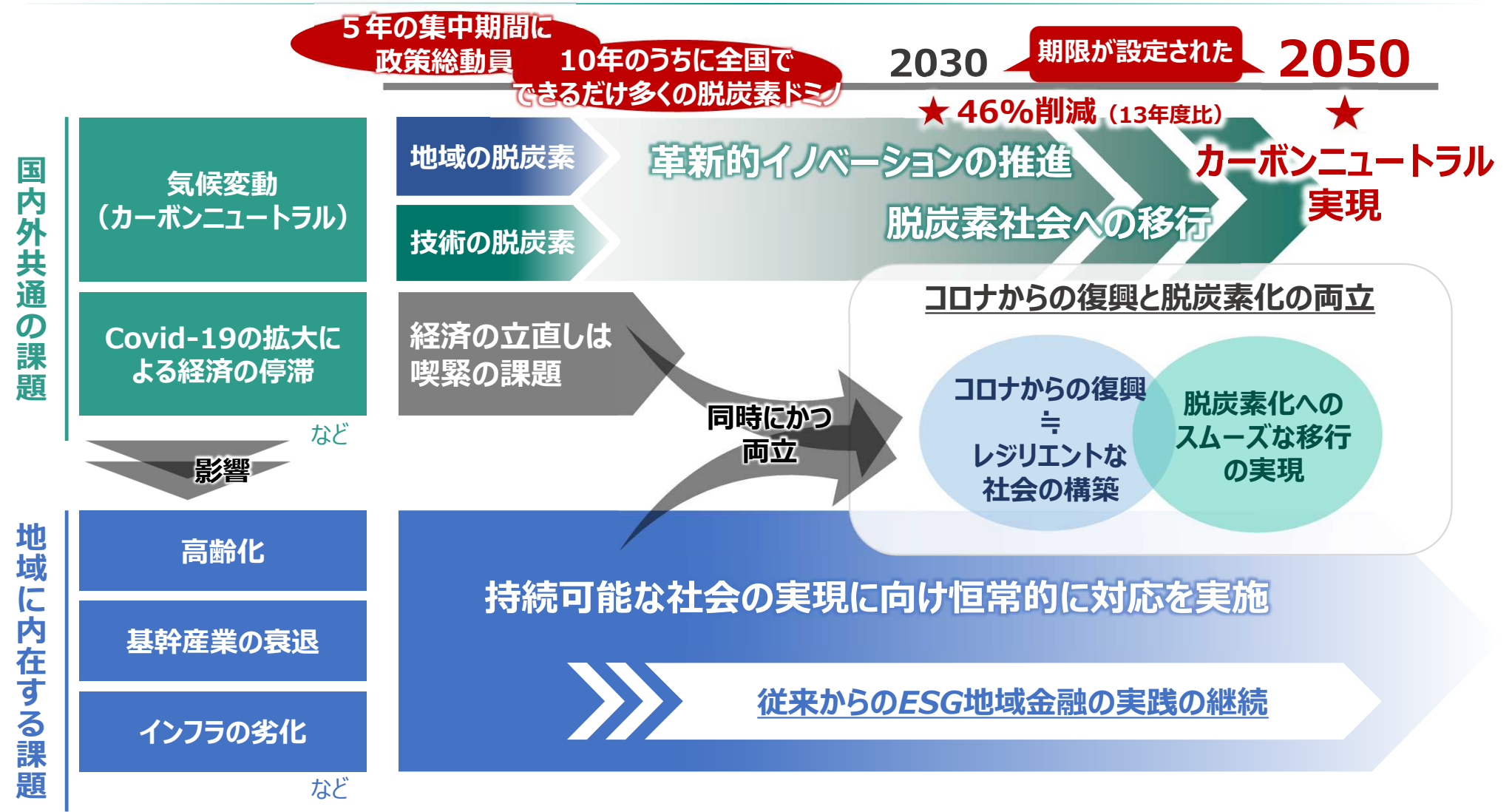
持続可能な社会形成に向けた課題解決のため、
環境、社会、企業統治の非財務情報を考慮して行う
「ESG金融」が必要



同じ考え方を地域の経済・社会に当てはめて考えるのが「ESG地域金融」

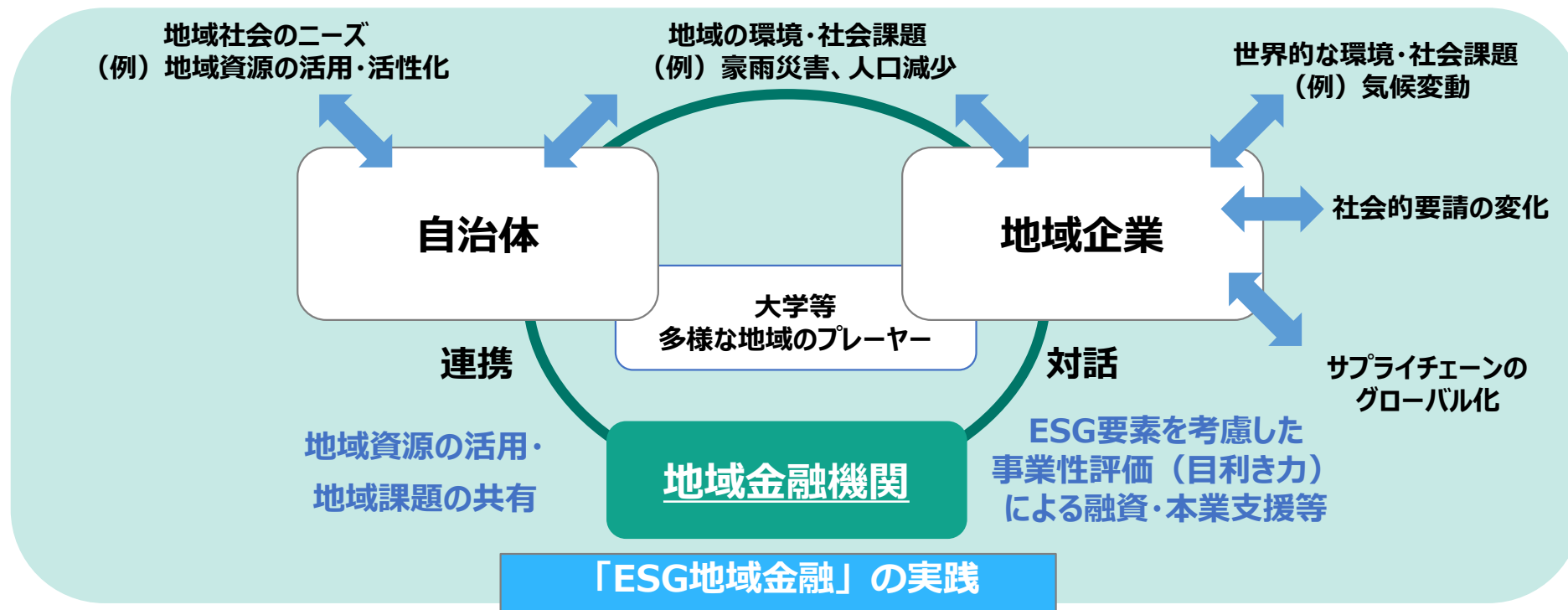
地域社会を取り巻く課題の変化

- 地域金融機関は、これまでも生産年齢人口の減少と高齢化に伴う人手不足やマーケットの縮小など**地域に内在する課題と向き合い**、持続可能な地域社会の実現に向けて、**ESG地域金融と認識される取組を検討・実践してきた**。
- 今般のコロナウィルスの拡大による経済活動の停滞や、2050年カーボンニュートラル宣言は、従来から地域に内在化していた課題にも影響を及ぼすとともに、「2050年」や「これからの10年」など**時間軸の概念を追加し、課題解決の期限が設定された**。



社会変化の中での地域金融機関の役割

- ◆ 経済がグローバル化する中、地域企業は地域経済の一員として、気候変動を始めとする世界的な変化の影響を受けながら、高齢化や人手不足といった地域社会の重要課題にも直面している。
- ◆ **地域金融機関**は、地域の経済・社会の活性化及び持続可能性のため、自治体等との連携や、地域企業との対話を通じて、**地域資源の活用・地域課題の解決に取り組んでいく重要なポジションにある。**



地域の環境・社会的課題
によって生じる企業の
ESGリスクや機会を考慮

ESG要素に着目し
地域企業の価値を発掘・支援

地域の持続可能性の向上

トップの理解と
積極的な関与

ESG地域金融の本質

- 地域金融機関には、地域の核として、**地域資源を活用し、インパクトを生み出す取組への資金の流れを太く強く**するために、ESG地域金融の実践が強く求められている。
- ESG地域金融とは、ESG要素（環境・社会・企業統治）を考慮した事業性評価と、それに基づく融資・本業支援等であり、ESG地域金融の本質は、これまでも地域や地域企業の課題解決に向けて地域金融機関が取り組んできた取組に内在しているものである。

地域の環境・社会的課題
によって生じる企業の
ESGリスクや機会を考慮

- 地域の持続的成長を促すには、**地域資源や地域課題（環境・社会）を把握**する事が必要。
- また、地域や地域企業がさらされている国内外の環境・社会（**ESG要素**）に起因するリスク・機会（**ESGリスクと機会**）を中長期的に見据えることも重要。

本質

ESG要素に着目し
地域企業の価値を発掘・支援

- この様な**中長期的な視点**を持ち**ESG要素に着目**して、地域資源と地域課題を活用・解決する事に取り組む企業の価値を**見いだす（発掘）**こと。
- 企業の課題・価値や地域のニーズを踏まえた**事業性評価**を行い、**融資や本業支援を实践**することが地域金融機関に求められている。

「地域循環共生圏」の構築

⇒**地域の持続可能性を高め「地域循環共生圏」の構築に貢献**

トップの理解と
積極的な関与

- ESG地域金融は質的転換を含む全社的な経営課題。
- 経営方針へのESG要素の組み込みや組織文化の醸成はトップの役割。

ESG地域金融の実践

ESG地域金融の現状

- 環境・社会に好影響を与える事業について、今後資金需要が拡大する領域と認識している金融機関の割合は93%と、ESG地域金融の重要性に関する認知は一層進んでいる。
- ESG金融の実践と取組の持続化に向けては、「戦略・方針の明確化」を第一歩として、「戦略・方針の浸透」「地域ステークホルダーとの連携」、「組織体制の構築」が課題となる。



ESG地域金融促進事業

- 間接金融中心の我が国において、金融機関に対して地域の持続可能性の向上や地域循環共生圏の創出に資するESG金融促進を図る支援を、以下2つの支援策を中心に行う。

ESG金融の要素を考慮した経営の支援

※8機関採択。（うち5機関程度を脱炭素に資する案件）

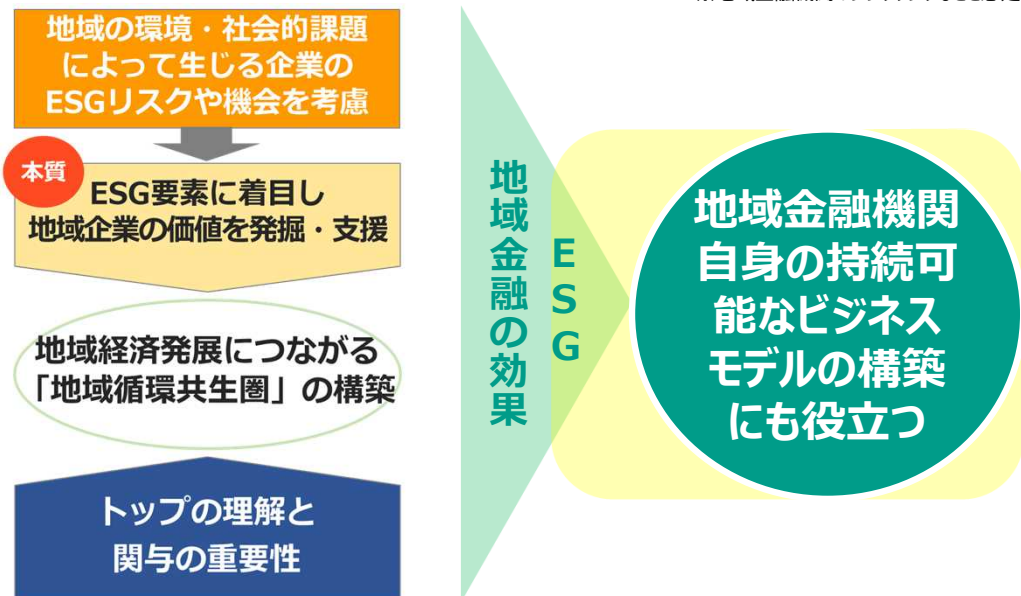
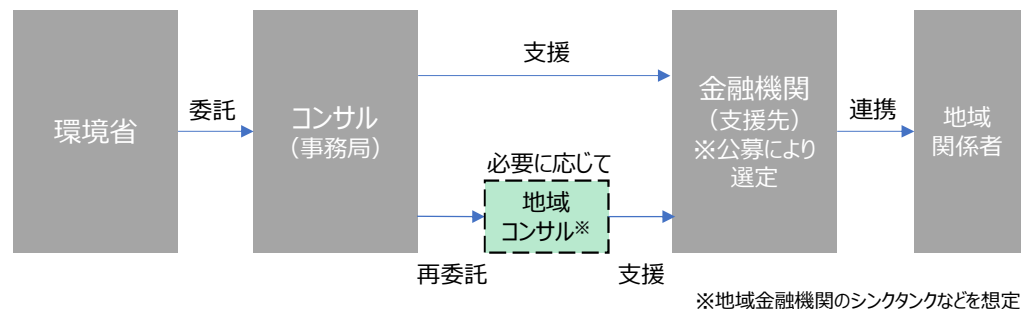
- ✓ 有望なグリーンプロジェクト等の地域の市場調査、将来性・利益性の掘り起こし
- ✓ 支援先機関に対する案件組成支援等を通じた、ESG要素を考慮した事業性評価のプロセス構築等の検討支援
- ✓ 支援先機関内におけるESG金融取り組み促進へ向けた仕組みづくり

ESG地域金融勉強会の開催

- ✓ ESG地域金融の考え方及び実践方法等についての勉強会の開催
- ✓ 有識者と金融機関の経営層によるESG地域金融に関するダイアログの実施

事業イメージ

※地域経済エコシステム構築に向け、金融機関と自治体/他金融機関の共同応募も受け付ける



ESG地域金融実践ガイド

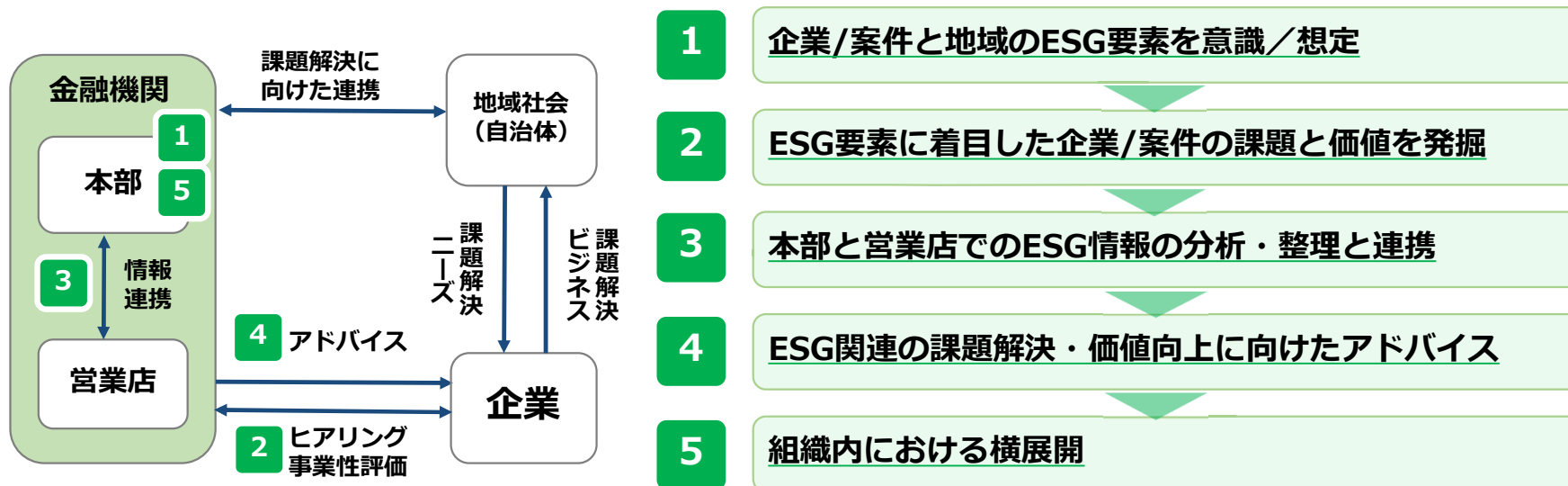
- 持続可能な社会・経済づくりに向け、地域金融機関には、地域の特性に応じたESG要素を考慮した金融機関としての適切な知見の提供やファイナンス等の必要な支援が期待される（ESG金融懇談会提言抜粋）。
- 個別金融機関への案件構築支援等を通じて、金融機関がESG金融を実践していくための手引きとなる「ESG地域金融実践ガイド」を2020年4月に取りまとめ、直近では「ESG地域金融実践ガイド2.1」へ改訂。

ESG地域金融実践ガイドの全体像

ESG地域金融の本質

- ✓ 地域資源・課題を把握し、ESG要素に起因する地域や企業への影響（ESGリスク・機会）を中長期的に見据える。
- ✓ この様な中長期的視点でESG要素に着目して企業を発掘し、課題・価値や地域のニーズを踏まえた事業性評価を行い、これに基づく融資・本業支援等を行うこと。

実践ガイドの内容



ESG地域金融の効果

- ✓ 地域循環共生圏を構築し、地域経済の持続可能な発展に貢献。
- ✓ 地域金融機関自身の持続可能なビジネスモデル構築にも役立つ。

ESG地域金融における3つのアプローチの概要

- 本ガイドでは、持続可能な地域の実現に向けた、**ESG地域金融の実践アプローチを3つに分類**している。
- 1つ目が、地域を俯瞰し、地域の長期目標や成長戦略等の実現に向けた地域資源の活用を検討・実践するアプローチ。2つ目が地域経済や自らのポートフォリオにおいて重要となる産業を対象に、その持続可能性の向上に向けた対応策の検討および実践を支援するためのアプローチ。そして3つ目が個別企業・事業を対象にその価値向上に向けた事業性評価、それに基づく融資・本業支援を実践するアプローチである。

アプローチ	取組概要
1 地域資源の特定および課題解決策の検討・支援 (地域資源・課題を対象にした取組)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域資源を見極め、顕在化あるいは予見される地域課題の解決に向けたビジネスの創出 ✓ 地域の長期戦略等を踏まえ、地域資源を活用した課題解決につながる事業等をステークホルダーと連携して検討 ✓ 検討結果の実現に向けた支援を実施
2 主要産業の持続可能性向上に関する検討・支援 (主要産業を対象にした取組)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 地域の主要な産業やポートフォリオの多くを占める産業など、地域金融機関にとって重要な産業が抱える中長期的な動向（リスク・機会になりうる項目など）を整理 ✓ 特定した課題に対して、対象産業の方向性を踏まえ、金融機関として持続可能な取組を促進するための支援策を検討・実施
3 企業価値の向上に向けた支援 (個別企業を対象にした取組)	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 取引先企業を対象に、ESG要素を考慮した事業性評価を実施し、リスク・機会を把握 ✓ 事業性評価を踏まえ、企業価値の向上に向けた本業支援を実施

脱炭素化に向けた地域金融機関の動き

- 地域金融機関においても、地域の企業とともに、**脱炭素化を自らの重要経営課題として取組に着手する状況**が生まれている。
- 地域のサステナビリティを自らの経営課題として、地域・中小企業に対し、**脱炭素に向けた投資資金の提供と構造転換に向けたコンサル機能**という両面で、**地域金融機関は大きなチャンス**を有している。

地域金融機関による脱炭素化に伴う機会とリスクを捉えた地域企業支援の事例

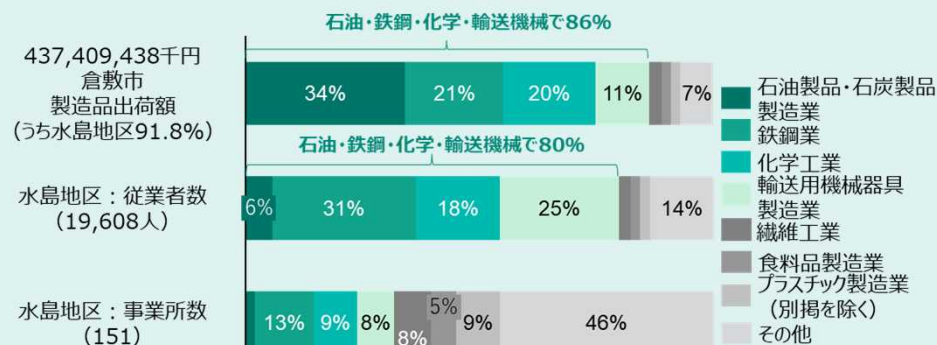
秋田県 北都銀行

- 秋田県沖での大規模洋上風力建設に関し、地域の事業者が関連産業に参入を検討するため、「**いつ・どの分野に・どのように参入すればよいか**」が分かる指針として**ロードマップ**を策定。



岡山県 玉島信用金庫

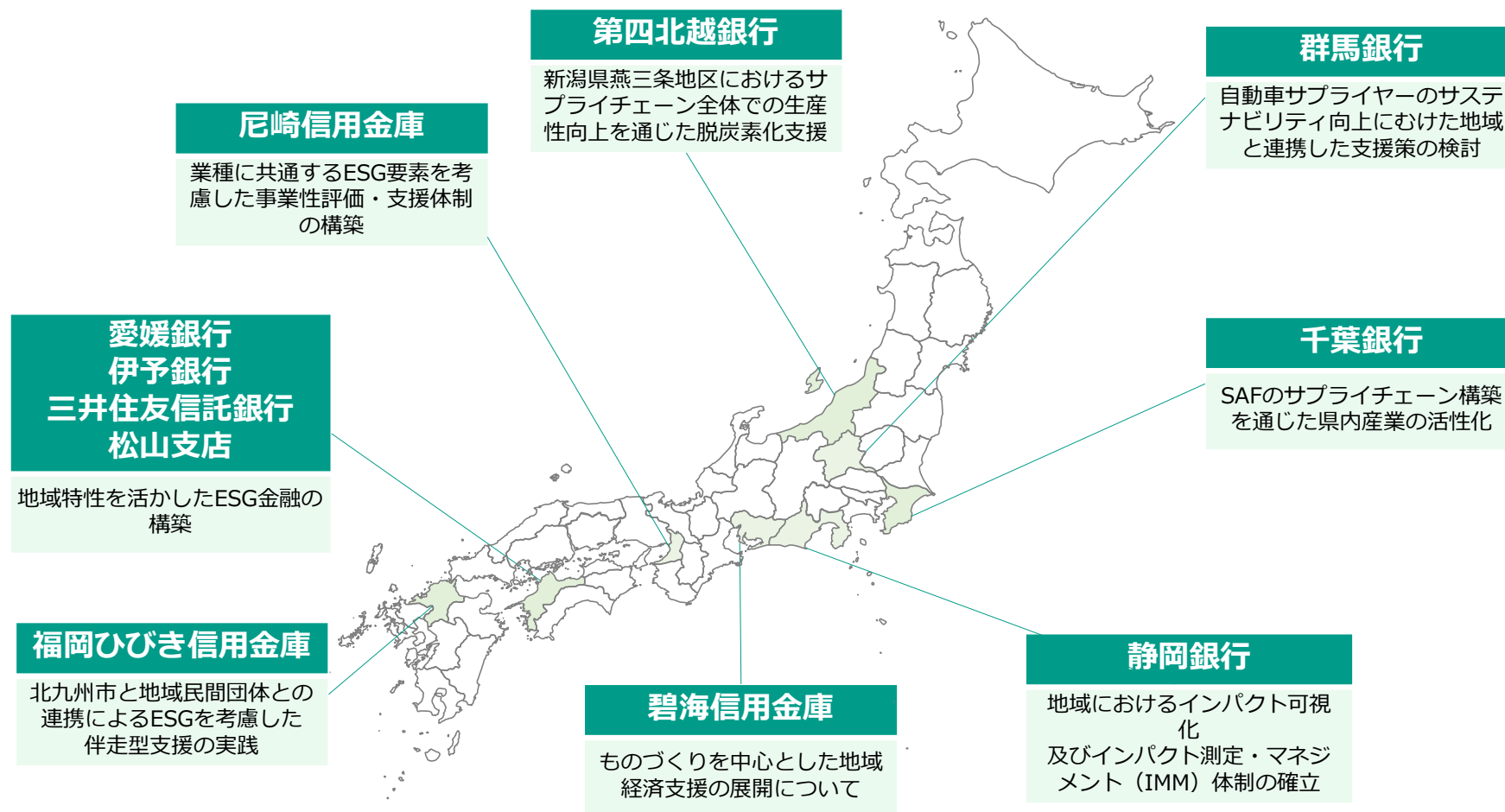
- 大規模な石油化学コンビナートを有し、脱炭素化に向けた移行が迫られる岡山県・水島地区の二次産業に関し、地域の信用金庫の立場から、**脱炭素化による取引先への影響を分析し、各業態への具体的な行動の整理や支援体制を構築**。加えて、自治体や他の金融機関等との連携を進めている。



出典：ESG地域金融実践ガイド2.1 及び同別添資料：事例集（2022年3月 環境省）

令和4年度地域におけるESG金融促進事業委託業務 採択先一覧

- 環境省において、地域金融機関に対し、地域課題の解決や地域資源を活用したビジネス構築等の支援を行うことにより、ESG地域金融の取組を促進。
- 今年度採択した8案件（10金融機関）の中でも、**自動車産業や金属加工などの地域全体での脱炭素対応**や、**地域での持続可能な航空機燃料（SAF）の供給**など、地域での脱炭素化を具体的な融資先支援や案件創出につなげる取組を支援。



※ESG地域金融実践ガイド2.1 <https://www.env.go.jp/content/900518786.pdf>